会報第25号



八雲町社協だより

共に助け合い、共に支え合う、安心して暮らせる あたたかい福祉のまちづくりを目指して

冬休み休野ポランティア事業





熊石地域の中学生・高校生を対象とした平成23年度冬休み体験ボランティア事業は、1月11日(水)~13日(金)の3日間で実施しました。特別養護老人ホームくまいし荘、熊石デイサービスセンター、ホームヘルパーとふれあい訪問、熊石保育園、相沼保育園、熊石共同学童保育所の6ケ所に22名が参加し、延べ人数で49名が熊石地域の福祉現場でボランティア活動を体験しました。

(2)



就任のご挨拶

八雲町社会福祉協 松 井 敏議 会 夫

お願い申し上げます。 担うこととなり、 務めてまいる所存でございますので、 力でありますが、 をとおし この n, これからの社会福祉協議会の円滑な運営 度、 役員 地域福祉の充実と発展のために微 の改選に伴い会長という要職を その その職務をまっとうするよう 責任の重さを強く感じて よろしく

な変化の中にあります。 地域社会や生活環境は益々複雑多様化して大き 家族化等によって福祉に関するニーズも増大し、 八雲町においても、 急速なる少子高齢化、 核

ります。 もに助け合い、 て策定し、 実践計画 たたかい 町 がら 丸となって取り組んでまいりますの 社協は、 は益々重要になってきており、 この様な状況のもとですので、 課題に対応してまいりたいと考えております ご協力をお願い 民 この皆様 行政、 地域福祉 また、 · 福祉 を平成二十五年度からの第四期に向 効率的運営且つ健全経営を念頭にお 明確なる活動指針を示して様 の信頼 福祉関係機関団体等と連携協働し のまちづくり」 支え合い、 社協活動の支柱である地域 の推進にその使命を果してま 申 と期待に応えるべく役職員 し上げ、 安心して暮らせるあ の基本目標実現の 就任の挨拶と かかげる 社協の果す役 で、 なな福 ご支 福祉 け 11

平成24年4月

のとおり選任されました。 (任期:平成24年4月5日から

平成

26年4

戸 4 日 4 日

の任期満了

に伴

17

評議員が

次

議

員 敬 称略 順 不 同

が次のとおり選任され 平成 (任期:平成24年2月1日から平成26年1 24 年 1 月31日の ました。 任期満了に 伴 17 理 事 月 31 監 日 事

理 敬

称略 順 不同

◎会長 〇副会長

〇長江 〇桂川 金子 目谷 吉田 佐藤 小林 <u>Fi.</u> ·嵐泰雄 朝子 健三 昭男 弘 (学識 子供 (町内 町内 (学識 (学識 (老人クラブ連合会) 町 (社会福祉施設団体) (ボランティア連絡協議会) (身体障害者福祉協会) (民生委員協議会) (民生委員協議会) 社会教育関係団 '内会等連絡協議会) 既経験者) 会育成連絡協議会 経験 経験 会等連絡協議会 会等連絡協議会 者 者



由紀美

(老人クラブ連合会) (老人クラブ連合会) (民生委員協議会)

ケイ 正美

(民生委員協議会)

阿部 八稲林木垣 増井 伊油藤谷 義親 徳悦 英行 清 正 力 (民生委員協議会) 町内 町内 (町内会等連絡協議会) 町内会等連絡協議 (町内会等連絡協議会) 内会等連絡協議会 会等連絡協議会 会等連絡協議会 会等連絡協議会 会等連絡協議会

坂 鍛 長田 冶田 松若竹牧田林内, 深澤 相木スミ子 長谷 矢羽羽京子 ÌΠ 静江 礼子 幸枝 明美 純忠 紀嗣 元子 (子供会育成連絡協議会) (女性団体連絡協議会) (ボランティア連絡協議会) (ボランティア連絡協議会) (身体障害者福祉協 (老人クラブ連合会) 社会福祉施設団体 (母子寡婦会)

岡島 、学識経験者 学識経験者 産業経済団体

吉野田田

社会教育関係団 社会教育関係団体 社会福祉施設団体

律子 敏幸

(学識経験者) (学識経験者)

隆 治 光 (学識 (学識 鼠経験者) 殿経験者)

岩佐

干

場

監

敬

称略

順

不同

経験者

たします

平成24年度 八雲町社協事業計画

基本方針

近年、少子高齢化や住民生活の多様化から生まれる様々な生活課題への対応が求められてきています。 また、孤立死や虐待など痛ましい問題も発生し、高齢者や障がい者等が安心感をもって、住み慣れた地域 と自宅で住み続けて行けるよう、福祉サービスの充実はもちろん住民と関係機関の協働による支援もその 重要さが増してきています。

このような地域社会の変化の今こそ、当社協がかかげる「ともに助け合い、支え合い、安心して暮らせるあたたかい福祉のまちづくり」の基本目標実現に向け、福祉関係団体やボランティアと連携協調しながら、「地域福祉の推進」の中核としての社協の使命を果たして行かなければならないと考えます。

そのためにも、地域力の支援をいただきながら、相談・サービス体制の充実を図りめざす福祉を実現するために努めてまいります。

社協活動の支柱であります地域福祉実践計画は、平成24年度が最終年となることから、新計画づくりに 取り組んでまいります。

また、北海道社会福祉協議会が実施している日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)については、市町村社協における地域福祉活動の重要な一つであることから、今年度からその事務の一部を道社協の支援を受け先行モデル事業として実施してまいります。

1月に開催した評議員会で新しい役員が選出され、それに伴い新会長が就任しました。今後とも関係者 みなさまのご支援を賜り役職員一丸となり、地域に信頼される社協としてなお一層の成果を期することを 目指し、次の重点推進事項に取り組んでまいります。

さらに、町から受託事業の適正な遂行及び通所介護・訪問介護・居宅支援各介護保険事業所の健全経営 に努めてまいります。

重点推進事項

(1)地域福祉実践計画の推進

地域福祉実践計画の具体的推進については、引き 続き着実な事業の実施を図ってまいります。また、 本計画は今年度が最終年次となることから、策定委 員会を設置し新しい地域ビジョンとしての計画づく りに取り組んでまいります。

(2)地域福祉、在宅福祉活動の推進

地域福祉・在宅福祉活動の推進にあたっては、「住 民参加・協働による福祉社会の実現、利用者本位の 福祉サービスの実現、地域に根ざした総合的な支援 体制の実現」を理念とし、その使命を十分果たせる ように努めてまいります。

町内会等が行っている安心ほっとネット活動やふれあいサロンの取り組みについては、社協としても各種事業や活動を生かしながら協働・支援してまいります。

ふれあい広場の開催及び福祉機器貸付についても引き続き取り組んでまいります。

第4回を迎える社会福祉大会は、福祉活動を推進 する大会となるよう内容充実に努め開催して参りま す。 利用者のその人らしい生活を支える在宅福祉活動 については、町からの受託事業が中心となりますが、 地域福祉型福祉サービスを目指し、住民・利用者・ 社協・行政が協働し、地域に根ざした運営を図りな がら、地域生活の質の向上とサービス充実に努力し てまいります。

(3)ボランティアセンターの運営とボランティア団体との連携

福祉は地域住民の力なくしては成り立たないものであることから、ボランティアの人材育成充実は大切であります。そのため、ボランティアスクールや青少年福祉活動体験事業を引き続き実施してまいります。

また、各ボランティア団体への支援・連携にも一 層取り組んでまいります。

多くの町民の善意により運営されております愛情銀行は、その浄財をボランティア団体への助成や支援、さらには福祉基金への積立として活用されてきていますが、寄付金は減少傾向にあります。多くの人々に愛情銀行の役割を伝え実績が上がるよう努力してまいります。

(4)介護保険事業所の健全経営

平成24年度の介護報酬改定案では、訪問介護・居宅支援については若干の内容変更はあるもののほぼ現状どおり、また、通所介護においてサービス提供の時間区分等の変更により報酬単価がアップの見込となっています。しかし、報酬単価が上がると利用者負担も上がることから、経営状況や取り巻く環境等を見極めながら、実費負担額の見直しについて判断してまいりたいと考えます。

利用者のニーズが多様化する中、サービスの質に 対する意識や評価は厳しくなっており、サービス提 供体制の一層の充実を図るとともに、利用者確保を 図り健全経営に努めてまいります。

(5)生活一時金・生活福祉資金の貸付事業の実施

本貸付事業は、経済的、社会的基盤の不安定な低 所得世帯等が地域で自立した生活を送られるように 支援する地域福祉サービスの一つとして実施してい ます。今後も積極的な相談支援活動とあわせ適正な 運営に努めてまいります。

(6)町からの受託事業の実施

町からの受託事業は次のとおりであり、事業の実施に当たっては、その目的が達成されるよう円滑な遂行を果たしてまいります。なお、本年度は、老朽化している八雲地域の移送サービス車両を町の補助金を受けて更新することとしております。

- ①八雲町総合保健福祉施設シルバープラザ管理業務
- ②寝たきり高齢者等移送サービス事業

(八雲・熊石地域)

- ③高齢者等給食サービス支援事業(八雲地域)
- ④緊急通報体制整備事業 (八雲·熊石地域)
- ⑤生きがいデイサービス運営事業(八雲地域)
- ⑥要介護認定調査業務(八雲地域)
- ⑦介護予防サービス計画作成業務(八雲地域)
- ⑧高齢者生活指導員派遣事業 (熊石地域)
- ⑨独り暮らし高齢者訪問事業 (熊石地域)

(7)相談・権利擁護事業

住民が安心安全に暮らしていけるよう、心配ごと 相談所の運営のほか各種事業や活動をつうじ、住民 の悩みごとや心配ごと等の相談に応じるとともに、 適切な助言・援助等を行ってまいります。

北海道社協が実施している日常生活を営むのに支障がある方の金銭管理等を支援する日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)は、平成26年度に市町村社協に移行をされる予定となっております。そのため当社協としては、今後ますます需要が高まる中で安定した支援体制をいち早く確立する為、道社協の支援を受けての先行モデル事業を実施し自立支援の充実に取り組んでまいります。

(8)財源の確保と財政の確立

社協の運営及び活動財源は、町からの補助金・委託金、介護事業に伴う介護報酬、愛情銀行への寄付金、そして、自主財源であります個人会費・賛助会費・特別会費、共同募金助成金など多様な財源でまかなわれております。

経済が低迷する中、その確保は年々厳しい状況にありますが、役職員一丸となって安定した財源確保に努力してまいります。

①会費納入について

自主財源の中で、大きなウエートを占める会費に ついては、町民皆さんのご理解を得ながら個人会費 の納入と賛助会員・特別会員の加入促進に向けて努 力してまいります。

②共同募金運動への協力

住民の善意と助け合いの精神により、地域福祉推 進の取り組みを財源面で支える赤い羽根共同募金は、 社協の重要な自主財源となっています。

そのため、八雲町共同募金委員会が実施する募金 活動に対し、積極的に参加協力してまいります。

③基金・積立金について

社協には、資本金となる基本財産のほか、福祉基金・財政調整基金・人件費積立金・備品購入積立金・退職共済積立金があり、その適正管理に努めてまいります。

また、資金状況に応じ積み立てて行くとともに、 目的に沿い有効活用を図ってまいります。

(9)社協組織運営の充実

①啓発・広報活動

「社協だより」・「支所だより」を年4回発行し、各種事業や行事の周知を図り社協活動の啓発に努めてまいります。

また、ホームページを活用した広報活動も行って まいります。

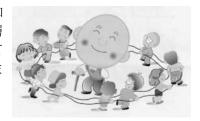
②組織運営の充実強化

評議員会・理事会・各委員会及び正副会長会議等を必要に応じ開催するほか、研修会への参加や情報収集を図り、地域福祉を推進する団体としての役割・機能を果し、地域に信頼される社協運営に努力をしてまいります。

また、法人本部・各介護保険事業所の財政基盤の 確立に努めながら効率的な経営に努めてまいります。 ③地域間交流の促進

八雲・熊石両地域の交流については、今後も各種

行事・事業等の参加 交流をつうじ、一層 交流促進が深まって いくように努めてま いります。



平成24年度八雲町社会福祉協議会の主要事業

(1) 介護保険事業

- ①指定居宅介護支援事業 (ケアマネジャー事業)
- ②指定通所介護事業並びに指定介護予防通所介護事業(デイサービス事業)
- ③指定熊石訪問介護事業並びに指定介護予防訪問介護事業(ヘルパー事業)
- ④指定くまいし居宅支援事業 (3 障がいに対するヘルパー事業)

(2)総合的な生活支援事業

- ①乳酸飲料無料宅配事業
- ②ふれあいひろば開催事業
- ③ベッド、車椅子等福祉機器の貸与事業
- ④社会福祉大会開催事業
- ⑤ボランティア育成支援事業 ※受託事業を除く。

(3)自立生活支援事業

- ①生活福祉資金の貸付事業
- ②生活一時金小口資金の貸付事業
- ③日常生活自立支援事業

(4)福祉団体支援事業

青少年の健全育成、障がい者、高齢者及び福祉団体については、赤い羽根共同募金の助成金により、 財政支援、運営育成指導事業等を推し進めます。

(5)介護保険及び在宅福祉サービス事業の情報提供

社協だよりの発行やホームページの運営を通して、介護保険事業及び在宅福祉サービス事業の情報 提供を定期的に登載し、啓発してまいります。

平成24年度八雲町社会福祉協議会一般会計予算

(収入) (支出) (単位:千円)

科目	予 算 額	科目	予算額
会 費 収 入	3,562	人 件 費	88,756
町 補 助 金	28,095	事 務 費	6,830
受 託 金 収 入	2 4, 2 0 8	事業費	1 4, 6 4 7
道 社 協 助 成 金	8 0 0	助成金支出	3 0
共同募金助成金収入	2,255	共同募金助成金	2,255
介 護 保 険 収 入	5 4, 2 1 2	会計単位間繰入金支出	287
自立支援費収入	1 0 7	経理区分間繰入金支出	7 9 7
雑 収 入	2 2	施 設 整 備 支 出	7,862
経理区分間繰入金収入	1,169	積立預金積立金支出	5 7 3
受取利息配当金収入	3 2	予 備 費	5 7 1
施設整備町補助金	5, 5 1 9		
積 立 預 金 取 崩 収 入	1,302		
前期末支払資金残高	1,325		
合 計	1 2 2, 6 0 8	合 計	1 2 2, 6 0 8

特别会計予算

(収入支出同額) (単位:千円)

科目	予 算 額	科目	予算額
ボランティアセンター	1,103	小口資金貸付事業	7 5 1
生活一時金貸付事業	1,500	生活福祉資金貸付事業	1 7 9

社協会員への加入をお願いします!!

皆さまからの社協会費は地域福祉事業に活用されています。

当社協は、町民皆様のお力添えに支えられながら、地域福祉、在宅福祉そして介護保険事業所の運営を推し進めております。

社協の運営財源は、町民皆様から収めていただく会費、町補助金、受託事業の受託金、赤い 羽根共同募金の助成金、そしてボランティアセンター(愛情銀行)によせられた寄付金(浄財)、 介護報酬等により賄われています。

主な使い道は、職員の人件費、介護保険事業、毎年開催するふれあい広場事業(敬老会)、在 宅福祉事業(移送サービス事業、給食宅配事業、緊急通報システム設置事業等)、会報(社協だより)発行事業、各種福祉団体、青少年団体への助成事業等に使われております。

お願いする会費は次のとおりです。

◎一般会費

500円

本年度もご理解賜りご協力下さるようお願いするととも に、全戸加入下さるようご協力をお願します。

◎賛助会費 □3,000円

後日、社協役職員がお伺いいたしますので、社協の地域 福祉事業にご理解いただき、一口以上のご配慮下さるよう お願いします。



平成23年度ボランティアスクール

昨年3月11 日に多くの被 害をもたらし た東日本大震 災からちょう ど1年の平成 24年3月11日



(日)、シルバープラザにて、ボランティアスクール を開催いたしました。

午前の部は、東日本大震災の被災地で活動支援を 行なってきた航空自衛隊第6高射群第20高射隊宮武 氏、八雲町消防本部大清水氏、八雲町訪問介護事業 所奥田氏をお招きし、テレビなどの情報でよく耳に していることでも、実際に現地で活動支援を行なっ



てきた方だからわかる感想、感想、 を見ながら間 を見なができました。 どれ ほど大変な出来事だったのか、自然の力の脅威、これから自分たちが行なっていくこと、実際に自分たちが被害にあったらどうするかなど、ボランティアそれぞれが再認識することができた講義となりました。

午後の部は、有限会社ジョイの主任運動指導員原 崎氏をお招きし、「生涯ボランティア活動を目指し て!」をテーマに講習して頂きました。ボランティ ア活動をする方も健康で怪我のないようボランティ アをするため、普段使っている筋肉、そうでない筋 肉を伸ばし、怪我を未然に防ぐ、健康を維持するた めのストレッチを無理なく簡単に家できるやり方な どを楽しく講習して頂きました。



党多多一派

☆平成24年4月から 下記料金表になりますのでよろしくお願い致します。

◎通所介護(要介護の方)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
介護保険利用者負担金 1割分(1回ごとに)	7 6 2	887	1, 0 1 2	1, 1 3 6	1, 2 6 1
食材費等実費負担分	5 0 0	5 0 0	5 0 0	5 0 0	5 0 0
合 計	1, 2 6 2	1, 3 8 7	1, 5 1 2	1,636	1,761

◎介護予防通所介護(要支援の方) (日初め料金)

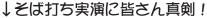
(71 (20) 41 32)					
	要支援 1	要支援 2			
介護保険利用者負担金 1割分(1か月定額分)	2,147	4,301			
材費等実費負担分	5 0 0	5 0 0			
合 計	2,647	4,801			
(月初め以外)					
食材費等実費負担分	5 0 0	5 0 0			



おひなまつり会で、 お内裏様とおひなさま

←ボランティアさんが 新年会で民謡や踊り を披露











デイサービスセンターは、毎月楽しい 行事を組み入れて、各種訓練を提供して おります。是非多くの方がご利用下さい ますよう、心よりお待ち申し上げます。 この写真は1月から3月の行事です。

仕事納めの式(十二月二十九日)

月

平成二十三年度八雲地区保護司候補者検討協議会

共生サロン八雲シンフォニー完成セレモニー

+

月

皆さんの温かい善意のご寄付 ありがとうございました

ボランティアセンター (愛情銀行)

平成23年12月16日~平成24年4月15日(順不同・敬称略)

一般寄付

○歌と踊りの交流発表会主催者

80,352円

物資寄付

〇八雲ボランティア

タオル7枚

(平成10年度より継続)

タオル100枚

〇八雲町母子寡婦会 (平成17年度より継続)

匿 0

名

タオル22枚

安心ほっとネット連絡会議

中・高生冬休み体験ボランティア

月

第五

回理事会

八雲町福祉有償運送運営協議会 第五回正副会長会議 第二回八雲町共同募金委員会理事会

平成二十三年度第二回渡島管内社協職員連絡協議会研修会

館市

第五十三回八雲町母子寡婦会総会

共生サロンきずなオープンセレモニー

づくり研修

平成二十三年度渡島地区 東野老人クラブ福寿会新年度総会 援員研修会

平成二十三年度渡島地区地域福祉生活支援センター生活支 第二十一回高齢者ふれあい演芸会

落部婦人ボランティア新年会 第六回正副会長会議

渡島振興局

「地域に理解され支持される社協 函館市総合福祉センター

社協職員の動き

この度、次のとおり異動がありましたのでお知らせいたします。

*平成24年3月31日付退職者

北斗市

平成二十三年度第二回管内社会福祉協議会会長・事務局長

会議並びに第二回渡島管内社会福祉協議会連絡協議会役員

渡島振興局

平成二十三年度介護保険施設等集団指導 平成二十三年度ボランティアスクー 第六回理事会

(八雲デイサービスセンター) 福 田 松 村 都 (くまいし訪問介護事業所)

*平成24年4月1日付採用

護 員 武 (八雲デイサービスセンター) 晴 澤 訪問介護員 西 首 (くまいし訪問介護事業所)

*平成24年4月1日付昇任 在宅福祉係長 笹

総務係主任

原 (在宅福祉係主任) 田 (総務係主事)

よろしくお願い申し上げます

会報第二十五号 ◎八雲町社協だより◎

八雲町社会福祉協議会 1 3 7 $\begin{array}{c} 0 \\ 1 \\ 3 \\ 7 \\ \end{array}$ 63 64 $\begin{array}{c} 1 \\ 2 \\ 1 \\ 1 \\ 2 \end{array}$ $\frac{1}{2}$ $\frac{1}{6}$ $\frac{1}{0}$

慰問

八雲町ボランティア連絡協議会「養護老人ホーム好日園」

七飯町

八雲町身体障害者福祉協議会総会

立岩羽衣会通常総会 八雲ボランティア総会

第二回評議員会 第3四半期定期監査

第四回正副会長会議

かつら共同作業所新春の集い 八雲ボランティア新年親睦会

年度初め式

四

月

渡島管内社会福祉協議会巡回個別支援

第三回評議員会

日常生活自立支援事業先行モデル事業業務説明

熱田遊楽クラブ総会

八雲町身体障害者福祉協会新年会

仕事初めの式(一月五日)

平成二十四年五月一日発行 社会福祉法人 一海郡八雲町栄町十三—

赤い羽根共同募金の助成金は、八雲町社協だよりの発行にも役立てています。